

お客様各位

2019 年 1 月

富士電機株式会社

発紘電機株式会社

作画エディタ V-SFT-6 ソフト不具合について

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて掲記の件、作画エディタ V-SFT-6 に関しまして、下記の不具合があることが判明致しました。つきましては、その内容をご連絡申し上げます。貴社に大変ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

1. 不具合内容

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.30.0 を使用した場合、下記の不具合が発生します。

2. 対象編集機種

V9 シリーズ/TS シリーズ/V8 シリーズ

3. 発生現象

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.30.0 を使用し、PLC 機種に富士電機 : MICREX-SX (IEC モード) を選択して変数名連携している場合、下記の現象が発生します。

現象① : アラームサーバーのデバイスに配列、構造体の変数名を指定している場合、画面データを開くと要素数が 1 つ飛びに書き換わる。

現象② : スイッチ/ランプのランプデバイスに配列、構造体の変数名を指定している場合、画面データを開くと、ビット指定がワード指定に書き換わる。(エラーチェックでエラーが表示されます)

現象③ : スイッチの出力デバイスやグラフィックリレー等のビット指定可能なデバイスに配列、構造体の変数名を指定している場合、画面データを開くとデバイスが書き換わる。

(見た目の設定に変化はないが、内部のデータが書き換わる)

4. 発生条件

以下の 1)~4)の条件に合致した場合に発生する不具合です。

1)V-SFT Ver.6.0.30.0 を使用する。

2)PLC 機種が富士電機 : MICREX-SX(IEC モード)で変数名連携ありの場合

3)画面データで以下のデバイスを指定している場合

アラームサーバー、スイッチ、ランプ等のビット指定可能なデバイスに BOOL 型の配列、構造体の変数名を指定。

4)画面データを開く。

※画面データを開いた後、モニタ本体に画面データを転送した場合、書き換わったデバイスのデータ転送されます。

画面データをセーブしなければ、書き換わったデバイスのデータは保存されません。

5. 原因

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.30.0において、PLCのデバイス情報が不正であった場合、正常な情報に自動補正するように改善を行った影響により発生した不具合です。

6. 不具合対象バージョン

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.30.0 (2018年10月18日リリース ~ 2019年1月10日)

7. 修正スケジュール

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.30.0 → Ver.6.0.31.0 2019年1月11日(金) 出荷分から切替

8. 画面データの復旧方法

データの復旧については、弊社にて対応致します。

お手数ですが、担当営業窓口までご連絡をお願い致します。

9. V-SFT Ver6 のアップデートについて

下記ホームページより作画エディタ V-SFT Ver.6.0.31.0 のダウンロードが可能です。

ホームページは 2019年1月11日にアップします。

10. ホームページ URL

www.hakko-elec.co.jp/site/support/download-index.html

以 上